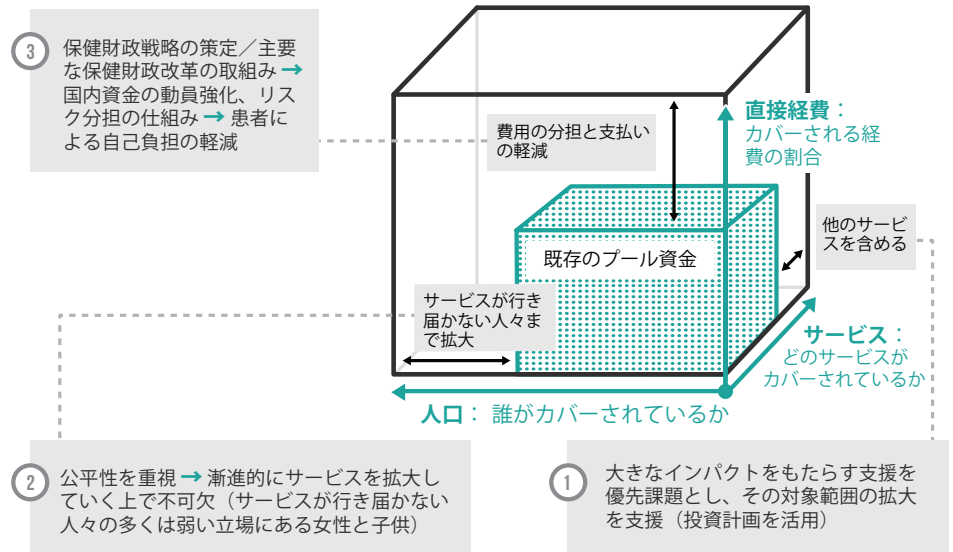


保健医療サービスを支払い可能な費用で誰もが公平に受けることができる——これは、途上国で暮らす多くの女性、子供、青少年の現実ではありません。その結果、毎年600万人以上が予防可能な要因によって命を落としています。「グローバル・ファイナシング・ファシリティ (GFF)」は、国連の「女性、子供及び青少年の健康のための世界戦略 (Every Woman Every Child)」を支援する主要な資金調達プラットフォームであり、「性と生殖に関する健康と、母子保健及び栄養 (RMNCAH-N)」に関わる基本的なサービス・パッケージを全ての人々が利用できるよう、国が主体となって進める成果重視型のアプローチを支援しています。これにより、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ (UHC) と他の持続可能な開発目標 (SDGs) の達成を後押ししています。

UHC達成に向けたGFFの取組み

GFFのアプローチと原則は、UHC達成に向けて取り組まれている国際的な主要優先課題を支援しています。GFFは、以下に示す3つの方向からUHCの実現を目指す国々を支援しています。



- 第一に、GFFは、投資計画の立案において、特に女性と子供というサービスを十分に受けることができない人々を対象とした、高い成果の期待できる支援を優先課題と位置付けるとともに、その対象範囲を拡大する各国の取組みを支援することで、サービスの漸次的拡大を後押ししています。さらにこのプロセスは、UHC達成に不可欠である保健人材や保健情報システム、サプライチェーン管理をはじめとする保健医療制度における主要課題にも対処します。
- 第二に、GFFは、公平性を極めて重視しています。これは、貧しく弱い立場にある女性と子供を中心とするサービスを受けることができない人々にサービスを漸次的に拡大していく上で不可欠です。
- 最後に、GFFは、各国による保健財政戦略の策定と主要な保健財政改革の取組みを支援しています。こうした支援は、国内資金の動員とリスク分担の仕組みの導入を助け、患者による自己負担を軽減します。

たとえば、モザンビークでは投資計画策定の過程で、RMNCAH-N分野の目標達成に向けて同国政府が選択すべき戦略が明確となりました。サービスが行き届かない州や農村地域を重点地区とするとともに、地域の著しく高い低年齢出産率といった主要課題への対処が極めて重要だと判明したのです。投資計画では結果として、農村地域のアクセス向上のためのコミュニティ・ヘルスワーカー・プログラムの拡大、特定の地区病院におけるケアの質向上のための投資、さらには学校を拠点とした青少年に対する家族計画サービスの提供、といった提言がなされています。

UHCがもたらす利益を拡大する機会

保健医療サービスへのアクセスと公平性の改善に向け、各国政府はGFFとの連携に大きな関心を示しています。増資に向けた新たなパートナーによる投資が、現GFF事業実施国に加え、新たな国々におけるUHCのスケールアップを支援します。

